

和歌山縣報

第千百三十八號

明治四十五年一月十五日

○縣令

○和歌山縣令第三號

明治四十四年^{六月}縣令第三十號銃砲火藥類取締法令執行規則中左ノ通改正ス

明治四十五年一月十五日

和歌山縣知事 川村竹治

第三十三條中又ハ第二十四條ノ處分ニ從ハサル者ヲ削ル

○訓令

○和歌山縣訓令第三號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

町村長ノ選舉及市町村助役、市收入役、市副收入役ノ選舉又ハ選定ヲ認可稟請スルトキハ其ノ稟請書ニ當選人ノ履歷書、公民權調書(有給吏員ニハ此ノ調書ヲ要セス)及會議錄謄本ヲ添付スヘシ但シ公民權調書ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

明治三十五年^{六月}訓令第百六十八號ハ之ヲ廢止ス

明治四十五年一月十五日

和歌山縣知事 川村 竹治

(書式)

公民權調査

何町村(大字何々)何番地身分職業

一何年何月何日生

一何年何月何日ヨリ本町村ニ住所ヲ有シ現獨立ノ生計ヲ營ム

一何年何月何日ヨリ本町村ノ負擔ヲ分任ス

一何年何月何日ヨリ本町村ニ於テ土地ヲ所有其ノ地租ヲ納ム

(何年度ヨリ直接國稅何々何圓ヲ納ム)

一貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケタルコトナシ(貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケタルモ既ニ二年ノ經過ス)

一禁治産者又ハ準禁治産者ニ非ラス

一六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナシ

一町村制第九條第二項及第三項ニ該當セス

一本年度地租(其ノ他ノ直接國稅)及縣稅戶數割ノ納額左ノ如シ

地 租 何程

(國稅營業稅 何程)

(所得 稅 何程)

(何々 何程)

何 某

戸數割 何程

右之通ニ候也

年 月 日

備考

町 村 長 何 某 印

一町村制第七條第二項乃至第六項ニ該當スルモノニ在リテハ其ノ旨調書中ニ詳記ヲ要ス
一地租條例第十三條第一項第一號及第二號ニ該當スルモノニ在リテハ本調書第四項中へ相當記入
スルヲ要ス

○ 告 示

○和歌山縣告示第七號

左記自轉車鑑札紛失セシ旨届出アリタルニ依リ自今無効トス但シ該鑑札ヲ發見シタル者ハ最寄郡
市役所ニ届出ツヘシ

明治四十五年一月十五日

和歌山縣知事 川 村 竹 治

鑑札番號

紛失 年 月 日

住 所 氏 名

第五五號

明治四十四年七月九日

東牟婁郡新宮町 内 水 勝 四 郎

○和歌山縣告示第八號

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治四十四年度和歌山縣歳入歳出追加豫算及同年度和歌山縣公園歳入歳
出更正豫算左ノ如シ

明治四十五年一月十五日

和歌山縣知事

川村竹治

明治四十四年度和歌山縣歲入歲出追加豫算

歲入

臨時部

第四款 寄附金

金五百六拾九圓參拾壹錢

第一款 土木費寄附金

金五百六拾九圓參拾壹錢

歲入計金五百六拾九圓參拾壹錢

歲出

臨時部

第二款 土木費

金五百六拾九圓參拾壹錢

第二項 治水堤防費

金五百六拾九圓參拾壹錢

歲出計金五百六拾九圓參拾壹錢

明治四十四年度和歌山縣公園歲入歲出更正豫算

歲入

第一款 公園收入

既定豫算金貳千九百七拾壹圓

更正豫算金參千貳百拾壹圓

第四項 前年度繰越金

既定豫算金八百九拾五圓

更正豫算金千百參拾五圓

歲入合計金 既定豫算金參千六百七拾壹圓

更正豫算金參千九百拾壹圓

歲出

第一款 公園費

既定豫算金參千六百七拾壹圓

更正豫算金參千九百拾壹圓

第一項 管理費

既定豫算金貳千參百八拾圓

更正豫算金貳千七百六拾圓

第二項 設備費

既定豫算金千八拾圓

更正豫算金九百四拾圓

○和歌山縣告示第九號

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料受領手續左ノ通定メタル旨廣島縣ヨリ通知アリタリ

明治四十五年一月十五日

和歌山縣知事 川村 竹治

廣島縣令第五十二號

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料受領手續左ノ通相定ム

明治四十四年十二月十九日

廣島縣知事 宗像 政

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料受領手續

第一條 退隱料又ハ扶助料ヲ當廳ニ於テ受領セントスル者ハ支給期月十日迄ニ第一號書式又ハ第一號書式ノ請求書(市町村長ノ証)ヲ當廳ニ差出スヘシ

第二條 退隱料又ハ扶助料ヲ當廳以外ニ於テ受領セントスル者ハ支給期月十日迄ニ第一號書式又

ハ第二號書式ノ請求書ヲ作り居住地市町村長(之ニ準スベキ者ヲ)ニ就キ當該證書ノ檢閲ヲ受ケ其証明ヲ得テ當廳ニ差出スヘシ

前項ニ依リ市町村長ノ檢閲ヲ受ケ其証明ヲ得タル者ハ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料支給規則第十二條ニ依ル證書ノ呈示ニ代フルコトヲ得ルモノトス

第三條 市町村長ハ前條ニ依リ證書ノ檢閲ヲ請フ者アルトキハ其證書ヲ檢閲シ官吏恩給法第十二條第一項及市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第五條第三號又ハ官吏遺族扶助法第八條及第十六條ニ抵觸セサル者ト認ムルトキハ當該請求書ニ書式ノ如ク証明スヘシ

第四條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者死亡シタルトキハ本人受領未済ノ退隱料又ハ扶助料ハ其遺族ヨリ前各條ニ準據シテ之ヲ請求スヘシ

前項請求書ニハ正管受領者タルコトヲ証明スル爲戸籍謄本ヲ添付スルヲ要ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年廣島縣令第八十六號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一號書式(用紙半紙)

市町村立小學校教員退隱料請求書

左記ノ通支拂相成度候也

明治 年 月 日

府縣郡市町村大字番地

氏

名 印

支出命令者

廣島縣知事宛

記

支	庫	名	番	証	書	號	年	額	明治	月	渡	給	額	元	職	名	備	考
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

右証書ヲ檢閲シ受領權アルコトヲ証明ス

明治 年 月 日

府縣郡市町村長 氏 名 印

備考

- 一 新規受領ノ者ハ退職年月及証書交付年月日ヲ、權利消滅又ハ支給停止ノ合場ハ其年月日及事由ヲ備考欄ニ記載スヘシ
 - 二 有給ノ公務ニ就キタル爲メ退職料ノ一部若クハ全部ノ支給ヲ停止セララルヘキ者ハ其職名、給料額給料ヲ受ケタル最初ノ日及退職當時ノ給料額ヲ備考欄ニ記載スヘシ其支給ヲ停止セラレタル者支給ヲ復スル場合亦之ニ準ス
 - 三 退職料ノ支給ヲ停止セラレサル者ト雖モ有給ノ公務ニ就職中ノ者ハ其職名及給料額ヲ備考欄ニ記載スヘシ
- 第二號書式(用紙半紙)

市町村立小學校教員遺族扶助料請求書

左記ノ通支拂相成度候也

明治 年 月 日

府縣郡市町村大字番地

故氏名寡婦(孤兒氏名親權者又ハ後見人)

氏

名印

支出命令者

廣島縣知事宛

記

支 金	拂 名	證 書	書 號	年	額	明治 月 日	年 月 日	故 職 氏 名	備 考
--------	--------	--------	--------	---	---	--------------	-------------	------------------	--------

右証書ヲ檢閲シ受領權アルコトヲ証明ス

明治 年 月 日

府縣郡市町村長 氏

名印

備考

一 新規受領ノ者ハ亡夫若ケハ亡父母等ノ死亡年月日及証書交付年月日ヲ離籍成卒又ハ其他ノ事故ニ依リ權利消滅シ若クハ支給ヲ停止セラル、場合ハ其事由及年月日ヲ備考欄ニ記載スヘシ其支給ヲ停止セラレタル者支給ヲ復スル場合亦之ニ準ス

○和歌山縣告示第十號

日高郡岩代村大字西岩代四百五十番地

開業產婆

井野ヨネ

右ノ者今般轉住ノ旨ヲ以テ訂正願出ニ依リ本日左ノ通和歌山縣產婆名簿ヲ訂正ス

明治四十五年一月十五日

和歌山縣知事 川村竹治

那賀郡安樂川村大字段四百四十五番地

○和歌山縣告示第十一號

和歌山市坊主丁一番地

開業產婆

武田 福ん

右ノ者今般轉住ノ旨ヲ以テ訂正願出ニ依リ本日左ノ通產婆名簿ヲ訂正ス

明治四十五年一月十五日

和歌山縣知事 川村竹治

和歌山市十番丁十五番地

○和歌山縣告示第十二號

那賀郡丸栖村大字丸栖四百十番地

開業產婆

山本コナツ

右ノ者今般廢業ノ旨ヲ以テ取消願出ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス

明治四十五年一月十五日

和歌山縣知事 川村竹治

○和歌山縣告示第十三號

那賀郡丸柄村大字丸柄千六百三十九番地

開業産婆

岩本フサノ

右ノ者今般死亡ノ旨ヲ以テ取消願出ニ依、本日、和歌山縣産婆名簿ノ登録ヲ取消ス

明治四十五年一月十五日

和歌山縣知事 川村竹治

町村吏員ノ異動

○明治四十五年一月十三日認可

海草郡紀三井寺村助役

平松淳次郎

伊都郡見好村助役

安部好之助

日高郡比井崎村助役

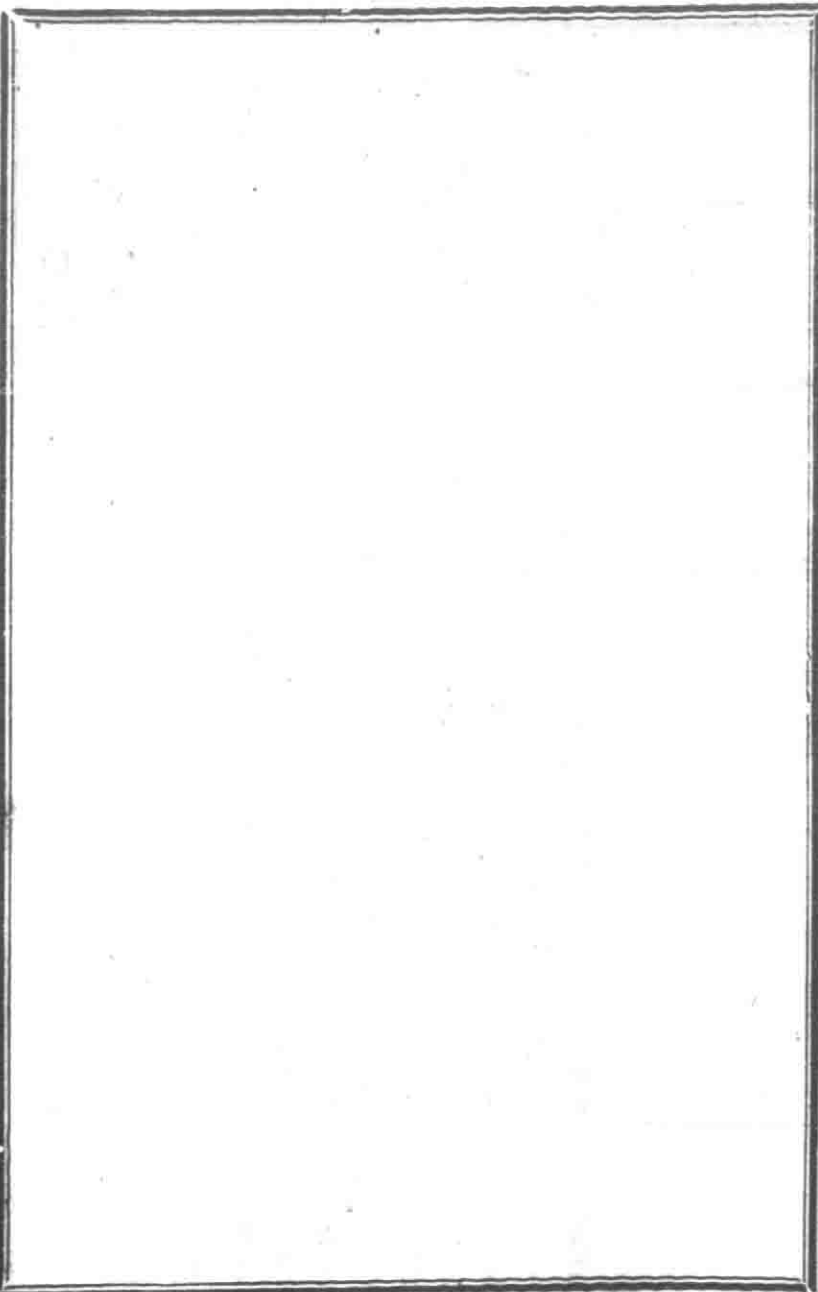
武内庸太郎

○觀象

自一月十日至一月十二日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	一月十日		一月十一日		一月十二日	
	前年	本日	前年	本日	前年	本日
平均氣壓	七六五點八	七六一點八	七六二點五	七六三點一	七五八點九	七六五點〇
平均氣溫	四度四	五度三	七度六	三度九	五度九	三度九
最高氣溫	六度七	九度九	一三度五	七度八	八度七	六度九
最低氣溫	一度二	一度二	一度〇	〇度七	三度七	〇度七
最多風向	東北東	西北西	東北東	西北西	北西	西北西
平均風力	二米三	三米〇	一米九	四米四	五米七	四米九
天氣	曇后雨	中晴	中晴	曇微雨	雨	晴
降水量	一糎三			〇糎〇	一七糎九	
記事雜象	午后降雨			曉間結霜正午前霰雨	終日降雨	曉間結霜



明治四十五年一月十五日印刷
明治四十五年一月十六日發行
（在月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行）

和歌山縣知事官房

印刷所
和歌山市北休賀町六番地
關活版所
印
關
活
版
所